

日本色彩学会誌 投稿論文チェックリスト

- 1. 論文の内容は、色彩学会誌に適している。
- 2. 原稿の内容は他の出版物にすでに発表、あるいは投稿されていない。
- 3. 著者の少なくとも1人は本学会員である。
- 4. 原稿枚数は、希望する論文の種別における枚数の制限範囲内である。
- 5. 投稿論文は次の順で並べ、まとめている。
 - 1) 論文題目と著者名・所属（日本語・英語）：通し番号はつけない。1ページ分を使用する。
 - 2) 和文抄録と英文抄録、キーワード：通し番号はつけない。1ページ分を使用する。
 - 3) 本文：改ページをして、通し番号は第1ページからつける。
 - 4) 文献：改ページをして、通し番号は本文に続ける。
 - 5) 謝辞と著者紹介：改ページをして、頁番号はつけない。（初回投稿時には添付しなくてもよい）
 - 6) 表と図：頁番号はつけず、1ページに1点とする
- 6. 提出部数を確認している：正原稿1部、副原稿2部（研究速報の場合1部）。
- 7. 原稿は、以下の体裁を満たしている。
 - 1) 原稿はA4判横書きで、1行24字、1段44行の2段組で記述している。
 - 2) 句読点は「,」または「.」で統一されている。
 - 3) 用語、記号、略号等の定義や使い方は適切である。
 - 4) 数式の書き方、表す意味は適切である。
- 8. 表題や抄録、キーワードの内容は、下記の事項を満たしている。
 - 1) 論文の内容を適切に表現している。
 - 2) 抄録には原則として、目的・方法・結果・結論を含み、簡潔に述べている。
 - 3) 和文抄録400字程度、英文抄録200 words程度をつけている。
 - 4) 英文抄録と和文抄録の内容は合っている。
 - 5) 英文表題や英文アブストラクトの英文は適切である。
- 9. 論文の内容は、下記の事項を満たしている。
 - 1) 文章は、簡潔、明瞭、平易に記述されており、あいまいな表現や冗長な箇所はない。
 - 2) 本文の論理構成（序論、本論、結論、参考文献など）は適切である。
 - 3) 研究の意義、背景、目的、手法、結果、考察、結論が明確に書かれている。
- 10. 図表は、下記の事項を満たしている。
 - 1) 本文の理解を助けるよう、また、見ただけでおよその意味が分かるよう適切に用いられている。
 - 2) 表題やキャプション（説明書き）は適切である。
 - 3) 英文表記がある場合、その英文は適切である。
 - 4) 図表を挿入していない場合、本文原稿右欄外に図表の挿入希望位置を示している。
 - 5) すべての図や表は、本文中で参照されている。不必要な図や表はない。
- 11. 参考文献は、下記の事項を満たしている。
 - 1) 本文末に挙げた参考文献は、すべて本文中で参照されている。不必要な参考文献はない。
 - 2) 本文中で参照番号を角括弧に入れて添えてあり、文献リスト内同文献の番号と一致している。
 - 3) 文献の情報は原典と相違なく、誤字、人名のスペルミス、文献記載の不備等の誤りはない。
 - 4) 文献の種類による記載方法は投稿規程に従っている。